



## 1 実物を手に学び深める!

本校では、1クラス20人の少人数で授業が展開されています。入学した一年生の教室では、『コンピュータの利用技術』の授業が行われ、担当の村松先生から、実物を手に取りながら学びを深めていました。

檜山菜緒さん(佐和高校卒)は「内容は難しかったけど、実物を見ながら分かりやすく学びました」とはなしていました。



『コンピュータの利用技術』の授業風景

## 2 新入生、勝工生7人



本年度の新入生59人(28の高校と高専)の出身校別人数をまとめました。本年度、勝田工業高校は昨年比二人増の7人と最多の入学生となりました。続いて、多賀高校(+3)、鹿島高校(+1)、中央高校(+4)がそれぞれ4人と入学生が増えています。

佐和高校(-2)と那珂高校(±0)が3人となっています。

入学人数の増えた高校は、4人増の中央高校、3人増の多賀高校が顕著となっています。

人数	学 校 名
7	勝田工(+2)
4	多賀(+3)、鹿島(+1)、中央(+4)
3	佐和(-2)、那珂(0)
2	日立工、日立北、太田一、太田西山、水戸商、水戸桜ノ牧、東海、玉造工、土浦工、石岡一、石岡商
1	日立商、水戸二、水戸三、緑岡、勝田、下館一、つくば工科、茨城高専、明秀日立、水城、水戸啓明、水戸平成

## 3 みんなの母校訪問②

### 県立土浦工業高等学校

県内3番目の工業高校として昭和34年に開校し、創立63年目の工業伝統校です。校訓である「自律」「独創」「寛容」「奉仕」の精神のもと、16000名を超える卒業生を送りだしており、本校にも多くの卒業生が入学しています。

後藤光彦校長からは、ものに命を吹き込み、「頑張れ!!」とエールを頂きました。



後藤光彦校長

## 4 『記事トレ』紹介



本校では、IT専門力に加え社会人基礎力の向上のため『記事トレ』を実施しています。新聞を読み、要約とIT技術者としての感想を書くトレーニングを通して読み解く力を育成します。

＜記事＞ 朝日新聞(2024年4月14日)  
天声人語「青春は・・・」

◇要約.....

●堀江詩音さん(日立北高卒)

若い時には、「可能性という道路が広くどこまでもある」AIを駆使したフェイクがあふれる中で、見極められる力は交流で培われる。失敗を恐れず挑戦を続けよう。その中で、命の大切さを忘れず、学びをスタートして欲しい。



◇感想.....

●山中悠梨音さん(那珂高卒)

これからの新しい環境に対しての心構えについて今一度考えさせられた。可能性について考え、自分の置かれている環境を見たときに、今を頑張り、学び、自分を成長させることが、この大学生活を送る上での目標となった。



●相澤琉夏さん(土浦工高卒)

人生を自分の倍以上生きている方からの言葉には、人生の中で何を学び取ったかが分かる。彼らの積み上げた経験を自分の糧とし、これから始まる大学生活のために、しっかり胸に刻んでおきたいと感じた。

●海野雄哉さん(土浦工高卒)

若い時は可能性に溢れていることを理解し、自分の定めた目標に挑戦し、その後も常に新しい目標を持ち続け現状に満足する事なく成長していこうと考えた。人との交流を大切にしたい。必要な能力を身に付けたい。

